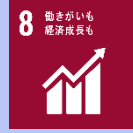


ASEANの中小企業に関する研究

研究分野: 経営学関連、地域研究関連、国際関係論関連

キーワード: 異文化経営、中小企業、東南アジア

貢献できるSDGsの区分:



経営学部 国際経営学科 准教授 三浦佳子

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/miur-yosh/>

研究概要

中小企業の国際化は、日本でもASEANでも企業の成長および経済の成長の観点から関心が高い。しかしながら中小企業の場合、外部および内部環境の課題から国際化に積極的な取り組みができないでいる。そのため輸出であれば、政府は輸出支援機関を通して、輸出支援を行っている。果たして、輸出支援機関の支援策は効果的に機能しているのだろうか。国際化はどのように進めるのだろうか。そもそも国際化は中小企業の成長につながっているのだろうか。日本およびASEANの中小企業を輸出や外国人材などといった国際化の観点から研究することで、国際化を通じての経済発展の一助とすると同時に、日本とASEANの中小企業の連携を考察する。

- (1) 国際化と中小企業の成長
- (2) 輸出支援機関とその活動
- (3) 外国人材の活用

*なお、ASEANとはインドネシア・マレーシア・タイを中心とする。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- ・日本の中小企業の海外展開に関する調査
- ・中小企業の経営に関する日本とASEANの調査研究
- ・異文化経営に関する調査
- ・外国人材やグローバル人材育成に関する調査

外部との連携実績等

- ・中小企業からの受託研究(輸入マーケティング)
- ・佐世保市北部商工会「伴走型小規模事業者支援推進事業委員会」委員長
- ・長崎県商工会連合会「専門家派遣」
- ・佐世保商工会議所での講師(市場環境)
- ・インドネシアの大学での講師(輸出マーケティング)